

# 長野中央西地区市街地総合再生基本計画について

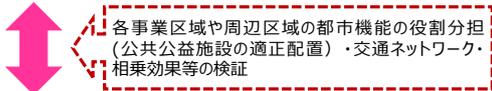
## 再生基本計画の策定概要

1

### 計画策定の背景

#### ◆ 新たなまちづくりへの対応 (中央通り新田町交差点～長野駅を軸とした周辺区域)

- 取組A** 新田町交差点周辺整備構想の検討
- 取組B** 長野駅～新田町交差点の中央通り歩行者優先道路化整備の方向性の検討
- 取組C** 市街地環境改善方針の検討



#### ◆ 現在の取組「中心市街地活性化プラン」事業の推進 (新たなまちづくり・3つの取組との連携)

- (1) 城山公園再整備事業
- (2) 善光寺周辺地区街なみ環境整備事業
- (3) 県庁緑町線沿線地区整備事業(セントラルスクエア・県庁緑線)
- (4) 長野駅周辺第二土地区画整理事業 など

### 策定の目的

- 適切な都市機能立地と開発の誘導・市街地環境の整備改善を図るため、ランドデザインを描く必要がある。**【取組A・B・C】**
  - 善光寺表参道(中央通り)を軸とする長野駅～新田町交差点の周辺エリアでは、老朽建物が多く、都市の再生が求められている。**【取組A・C】**
- これらを、地域住民のまちづくりへの意識向上や官民連携の深化を図りながら、より良いまちづくりを実現していくための計画として策定に着手するもの。

### 計画範囲

- 新田町交差点から長野駅までの中央通りを軸とした周辺区域

### 策定期間

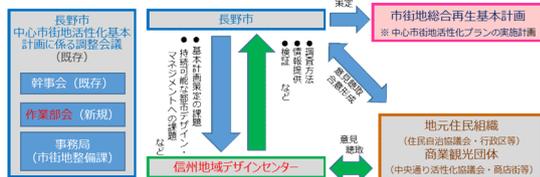
- 令和元年度～2年度(予定)

### 策定事業費

- 令和2年度 12,000千円(全体 21,900千円【国庫補助 6,000千円】)

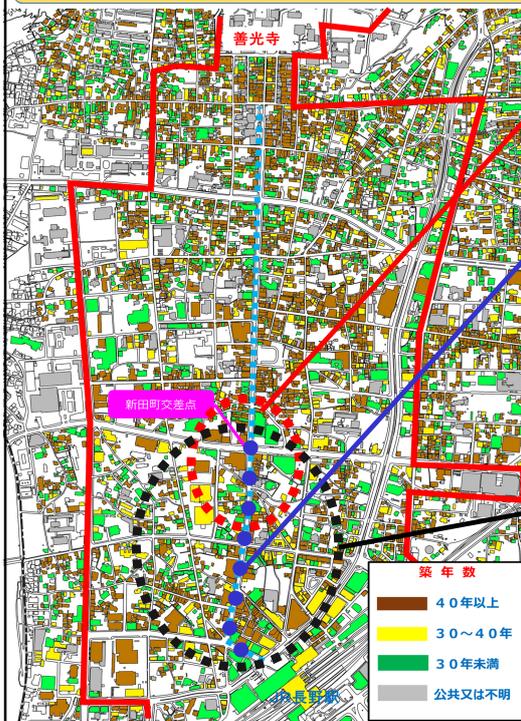
### 検討体制

- 中心市街地活性化基本計画に係る調整会議幹事会に作業部会を設置、議論に着手。
- 信州地域デザインセンターによる専門的、客観的な視点から協力・支援を得ながら進める。



## 新たなまちづくりへの対応 3つの取組 A・B・C

2



### 取組A 新田町交差点周辺整備構想の検討

- ・もんぜんぶら座の在り方の長野市の方針
- 「**長期的な課題**」の解決に着手するとともに**当面の課題**に対応」

- 新田町交差点周辺まちづくり構想の策定
- 耐震改修と必要な防災設備の更新(施工中)

### 取組B 中央通り歩行者優先道路化整備の方向性の検討

- ・地区、商店会、交通事業者など関係者との調整
- ・中心市街地活性化プラン関連事業との整合
- ・歩行者の回遊に寄与する公共交通体系の構築
- ・駐車場の適正配置、空き地・遊休地の有効活用 など

- 中心市街地の全体像を見据え、善光寺表参道を軸として面的に広がる、歩いて楽しい歩行者空間の整備が必要

### 取組C 市街地環境改善方針の検討

- ・中央通り沿いでは築年数40年超(旧耐震基準)建物の増加が顕著
- ・老朽建物が取り壊され、平置き駐車場化されるなど、好立地でありながら、低未利用な土地が増加

- 民間の更新意欲を、適正な都市機能立地と開発へ誘導
- 市街地の環境改善を誘導

